

65 期卒後 50 年記念同期会、128 名で盛大に祝う！

9 月 17 日(土)、@上田

我々65期は、昭和42年(1967年)3月、上田高校の「古城の門」を卒業して今年でちょうど50年(半世紀)を迎える。人生の節目でもあるこの時期に、記念同期会を地元で開催することとなった。

9月17日(土)の午後、すっかり秋の気配の上田に各地から128名が参集した。会場はこれまで何度か同期会会場となった「香青軒」(上田市中央3丁目)である。1年以上前から幹事団により周到に準備されたこともあり、128名というこれまでの同期会で最大人数が参集して大盛会となる。

128名の内訳として、女性の参加は11名。海外からはインドと中国在住者も。国内は関西・中部から4名、関東から大挙53名が駆けつける。参加者が130名近くなると、開宴前の受付は大混雑となり、そこかしこで「卒業以来だね！」といった会話が飛び交い既に盛り上がっている。

受付ではお土産に卒後50年記念誌DVD【写真5】が手渡され、会場スクリーンには記念誌のライドショーが校歌をバックに流れているのも嬉しい。

広い宴会場にはクラスごとに15の円卓が並び、全員着席すると壮観である。15時過ぎ開宴、冒頭に65期代表幹事の布施修一郎からの挨拶があり、現在推進中の50周年記念募金は目標まであと1歩というところまで来ているので更なる協力と呼びかける。

待望の懇親会は、元生徒会長の牧野泰晴の乾杯発声でスタートする。宴たけなわ、喧騒の中、クラス別紹介が始まる。くじ引きで決まった順番でクラスごと全員が登壇。クラス代表による一言とメンバー紹介そして記念撮影があるが、中にはどうしても喋りたい人が出てきて予定時間がオーバーしていく。【写真2、3】

その後、女性出席者全員が揃って登壇し、マドンナたちのスピーチを聞く。その間、65期エンブレム入りの色紙が配られ、クラス別寄せ書きが行われる【写真4】。次のコーナーは現在活動中の七つの各種同期会、同好会について各代表から会のPRと勧誘があるが殆ど誰も聞いていない状態。

会も3時間を経過して最高潮に達した頃、応援団OBの4名のリードで校歌、凱歌の斉唱となり歌声が轟き渡る。

そして集合写真【写真1】の撮影は会場の一部を片付けて、多段のひな壇に整列するところから始まる。120名を超える酔っ払い達をちゃんと写すのは大仕事であった。

最後は丸山はる代が「次回



は古希を記念して集まろう』との言葉で中締めとなる。15 時からの 3 時間半の長丁場の会もこれで無事お開きとなった。

(上原昇(65 期)記)

以上

【写真 1】 出席 120 数名による全員集合写真



上田高校65期 卒後50周年記念同期会

2016年9月17日

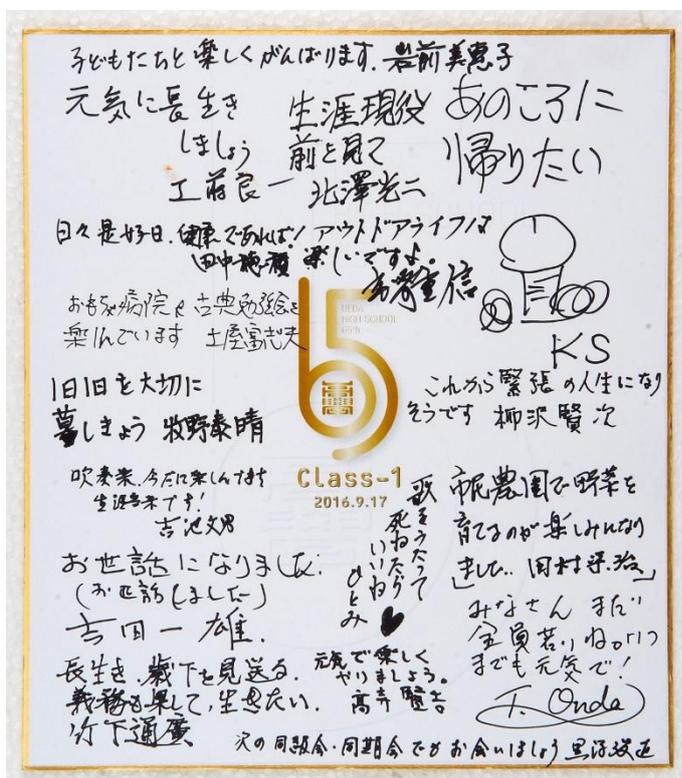
【写真 2】 パーティ風景(1)



【写真3】 パーティ風景(2)



【写真4】 1組の寄せ書き(11クラスの参加者全員が書きました)



【写真5】 卒後50年記念誌 DVD 盤面(デザインは澤崎健一君による)

